

令和3年度  
那珂川市次世代育成支援地域行動計画  
実施状況

## 目次

基本目標	基本施策	ページ
1 安心して子どもを産み育てるための環境づくり	1 母子の健康づくりを推進する	1
	2 子育て不安を解消する	1
	3 子育て家庭の生活を支える	2
2 子どもが健やかに育つための体制づくり	1 子どもの人権を守るとともに、人権教育を進める	2
	2 子どもの個性と可能性を伸ばす教育を進める	3
	3 障がいのある子どもの成長を支援する	4
	4 地域での体験や活動ができる環境をつくる	5
3 子育て家庭を支えるための地域づくりの推進	1 男女がともに子育てできる環境をつくる	5
	2 子育てと仕事の両立を支援する	6
	3 地域ぐるみで子育てをするコミュニティをつくる	6
	4 子育てに優しい生活環境を整備する	7



NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
<b>基本目標 1 安心して子どもを産み育てるための環境づくり</b>										
<b>基本施策 (1) 母子の健康づくりを推進する</b>										
1	1. 妊産婦・乳幼児の健康づくり	乳幼児健康診査の実施	健康課	4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健診では、問診・身体計測・診察・保健指導・栄養指導などを行います。1歳6か月、3歳児については、歯科健診と歯科保健指導もを行います。1歳児健診では、保護者の歯科健診・集団健康教育・保健指導・栄養指導・歯科指導を行い、保護者への育児支援と疾病や異常の早期発見及び予防を図ります。	3歳児健診の受診率	101%	96%	100%	月1回の集団健診で実施した。未受診者については、はがき通知や訪問による受診勧奨を実施した。家庭訪問などで状況確認ができない場合は、こども応援課・保育所・医療機関などと連携し、家庭状況の把握に努めた。	3歳児健診の未受診者のうち、児の健康上の問題や海外在住者といった理由につき集団健診対象にならないものは、個別に対応し全数実施把握をした。また未受診が1件あるが、こちらに関しては関係機関と連携し実施把握した。
2		妊婦健康診査の実施・助成	健康課	妊婦の健康保持・増進のため、問診・診察・血液検査・尿検査及び超音波検査を実施していきます。また、出産にかかる経費負担を軽減するために、妊婦一般健診にかかる費用を助成します。	1人あたりの助成対象健診回数	14回	14回	14回		妊婦健診の助成を実施し、受診状況や妊娠経過の把握に努めた。また、里帰り出産等の場合は、償還払い制度も案内した。
3		母子健康手帳の交付	健康課	妊産婦が安心して出産、育児ができることを目的に、母子健康手帳を交付します。また、妊婦の健康状態を把握し妊娠早期から支援するために、アンケートを実施します。	-	-	-	-	全件個別対応にて交付した。妊婦の予定に合わせた事前予約のほか、個別対応により相談しやすい環境を整備した。母子手帳交付時は専門職である保健師や助産師が面接を行い、必要に応じて妊娠早期から支援介入を行った。	
4		父親の育児参加における啓発	健康課	妊娠・出産・育児について、母親と父親が一緒に学んでいけるようパンフレットや父子健康手帳を配布します。	-	-	-	-	母子手帳交付時に父子健康手帳を配布し、育児への関りを説明した。また、ふれあいこども館でのプレパパママ講座を案内した。	
5		新生児訪問の実施	健康課	妊産婦、乳幼児の健康保持・増進のため、身体状況及び生活環境等を把握し、日常生活に関する保健指導や情報提供を行います。また、産後うつ予防のためのアンケートを実施し、相談や情報提供を行います。	訪問実施率	99.7%	99.8%	100%	訪問対象件数400件のうち、訪問できなかったのは長期入院による1件のみであり、令和4年度に電話や退院後の訪問で確認を行った。	『新生児訪問』『乳児家庭全戸訪問』事業として実施し、母子の健康状態や育児状態の確認、予防接種、健診などサービスの説明を行った。
6	2. 学童期の健康づくり	学校における保健教育の実施	学校教育課	児童、生徒の健康保持増進を図るため、学校において養護教諭などによる保健指導を行います。	実施回数	年0~1回	年0~1回	年2回	例年実施していた学校保健委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの学校が実施できなかった。	
7		学校における食育の実施	教育総務課	偏食や欠食をする子どもをなくし、体力、学力の向上に資するため、各学校において食に関する指導計画を策定し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に食育を推進していきます。	-	-	-	-	第1次那珂川市学校食育推進計画に基づき、全小中学校において、食に関する指導計画を策定し、栄養教諭・学校栄養職員が学級担任等と連携して、食育を推進した。各学校の食育活動に対し、那珂川市学校給食会から食育活動助成金を交付することで、学級活動における食育指導や弁当の日等に関する指導の充実を図った。	令和3年度 食育活動助成金を活用した食育活動実績 弁当の日の実施、児童給食委員会の活動、保護者への食育発信のための書籍購入、もち米収穫祭、食育講演会
8		地域における食育啓発の実施	健康課	地域における健康の保持増進を図るため、健診や教室を通して食生活の大切さを啓発していきます。	3歳児健診時におけるおやつ提供の回数	0回	2回	12回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おやつ提供を一部中止した。令和3年度より、子ども自身が食に対する関心を深め、自ら食べ物の選択ができるようにするため、子どもが主体的に参加できる指導手法により、啓発を行った。	
<b>基本指針 (2) 子育て不安を解消する</b>										
9	1. 子育て支援の場の整備	ふれあいこども館の運営	こども応援課	地域子育て支援拠点として、ふれあいこども館を運営します。あわせて、幼児・児童に遊びの場を提供する等、児童館としても運営します。	-	-	-	-	幼児・児童の遊びの場として提供するほか、小学生の遊びの場、中高生の居場所として提供した。	開館日数 240日 来館者数 16,747人 (69.8人/日平均)
10		地域子育て支援拠点の充実	こども応援課	子育て支援サービスの機能的な充実を図るため、地域の子育てサロンと連携し、子育て親子の支援を行います。	施設数	0か所	0か所	3か所	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催に至らなかった。	子育てサロンのある行政区 12
11		親子のふれあいを推進する場の提供	こども応援課	親子の絆を深めるため、親子で一緒に触れ合うことができる場を提供し、保育士などにより触れ合い方の指導を行います。	プログラムの開催回数・参加者数	95回 1,578人	86回 1,431人	305回 11,000人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラムを一部中止したり、人数制限を設けたりしたことに伴い、回数・参加者数が減少した。	
12		育児相談及び講座の実施	こども応援課	親が抱く子育ての不安を解消するため、保育士などによる育児相談及び講座を実施します。	相談件数	274件	239件	100件	ふれあいこども館では、ことばの相談、発達相談、たんぽぽ広場、すくすく育児相談を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、同じ悩みを抱えた保護者同士の関わりが減り、職員に相談するケースが増えた。	
13		子育てサークルの育成	こども応援課	子育てをしている親同士でつくるサークル活動を活発にするため、サークル活動に役立つ情報を提供するなど、育成を支援します。	サークル数	2件	4件	5件	子育てサークルに対し、ふれあいこども館等の施設利用やおもちゃ・絵本の貸出を行った。	
14		本を通じた親子の交流の場の提供	こども応援課	本を通じて、親子の絆を深めるため、乳児とその保護者を対象にしたブックスタート事業を行います。	参加率	49%	45%	65%	4か月児とその保護者を対象に実施し、未参加者へは再度、案内文書を送付した。例年1回であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために月2回にするとともに、分散化及び参加率の向上を目的に個別対応も行った。	回数 月2回 (例年1回だが、コロナ禍で参加者を分散させるため2回にしている。) 個別対応も実施 対象児数 410人 参加者数 184人
15		地域子育て支援拠点のサテライト施設の拡充	社会教育課	社会教育施設において子育てに関する図書、ビデオ等の貸し出しを実施します。	-	-	-	-	中央・北地区・南地区公民館において、図書、ビデオの貸し出しを実施した。公民館利用者の増加に伴い、図書の貸出が増加した。中央公民館 図書貸出 141人 DVD貸出 5人、北地区公民館 図書貸出 66人、南地区公民館 図書貸出 9人 合計 221人	
16		保育所における育児相談や保育指導の実施	子育て支援課	保育所に入所していない乳幼児と保護者を対象に、認可保育所で保育所体験や保育についての助言・指導、育児相談などを行います。	開設日数	1施設あたり 月2回	1施設あたり 月2回	1施設あたり 月2回	保育所体験者数 1,201名	月2回の公開保育を実施し、うち希望者に対し育児相談を行った。
17	2. 子育てに関する相談・情報提供の充実	離乳食に関する学習の場の提供	健康課	乳児の保護者や出産前後の保護者を対象に、離乳食について学べる場として、保健師・管理栄養士による離乳食教室を行います。	-	-	-	-	生後4~5か月の第一子の乳児と保護者全員を対象に、講義・実習を通して離乳食の重要性を伝えるとともに、知識の普及や不安を軽減できるように支援した。なお、第2子以降については希望の方には個別に対応した。	
18		育児相談の実施	健康課	保護者の育児不安を解消するため、保健師・管理栄養士・助産師が発達に応じた保健指導、栄養指導を行います。	-	-	-	-	のびのび育児相談事業のほか、各種健診後の電話相談等で実施した。また、随時、育児相談を電話・窓口で対応した。	のびのび育児相談：回数 9回、参加組数 230組 電話相談：件数 981件
19		家庭訪問・電話相談の実施	こども応援課	子育てに関する保護者の悩みや乳幼児に対する保健・栄養指導や諸制度の活用方法の助言を行うため、家庭児童相談員や保健師等による家庭訪問や電話相談を実施します。	-	-	-	-	子育て支援や育児不安軽減を図るために電話相談や面接相談を実施した。必要に応じて、相談員が家庭訪問を実施し、また、健康課やふれあいこども館、療育センター、福岡児童相談所等と連携を図り、より適切な支援につながるよう介入を行った。	電話 1,860件、面接 1,575件、訪問 466件、その他 136件、計 4,037件
			健康課		-	-	-	-	子育て支援や育児不安軽減を図るために家庭訪問事業を実施した。必要に応じて、栄養士による訪問も実施した。また、こども応援課やふれあいこども館、療育センター等他部署と連携を図り、より適切な支援につながるよう介入を行った。	全戸訪問以外の助産師訪問67件及び栄養士の訪問18件

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
20		利用者支援の実施	こども応援課	子どもや保護者からの子育て支援に関する施設・事業等の利用についての相談に応じ、情報の集約・提供や助言、その他の援助を実施します。また、必要に応じ、関係機関との連絡調整等も行います。	実施施設数	1施設	1施設	1施設	ふれあいこども館	相談件数 274件（ことばの相談 12回 33件、発達相談 11回 20件、たんぽぽ広場 4回 10件、すくすく育児相談 随時 176件）
21		インターネット等による子育て情報の充実	こども応援課	ホームページや子育て情報サイト、子育て情報誌に子育てに関する情報を掲載し、内容の充実を図っていきます。	インターネットでの情報入手先の割合	-	-	40%	ホームページのほか、「nobi nobiのびのび」と称する子育てポータルサイト・子育て情報誌・母子手帳アプリに、さまざまな子育てに関する情報を掲載し、内容の充実を図った。このように、インターネットによる情報の広報及び入手は当たり前となっているため、入手先の調査は実施していない。	
22	3. 保護者同士の交流の促進	子育てサークルの活動の場の提供	こども応援課	子育てサークルを支援するため、活動場所としてふれあいこども館や保健センター、地区公民館など、公共施設を提供します。	子育てサークルが使用する際に優遇される施設数	5か所	5か所	5か所	ふれあいこども館、中央・北地区・東地区・南地区公民館を使用することができる。	那珂川市子育てサークル・グループ登録実施要領で規定している。
23		子育て世代の交流の場の提供	こども応援課	子育て中の保護者の孤立化を防止するため交流の場を提供します。	実施回数	12回	7回	12回	ふれあいこども館では、ママのホットタイムを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数を減した。 参加者数 96人	
					人権政策課	セミナー及び遊びの広場実施回数	22回	14回	30回	恵子児童館では、子育てステップアップセミナー及び遊びの広場を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、回数を減した。 参加者数 166人
24	4. 家庭教育の充実	家庭教育学級の実施	社会教育課	子育てについて学習し、良好な親子関係や家庭環境をつくるため、家庭教育学級を実施します。	参加人数	116人	141人	250人	子どもを育てながら、自分自身を育てることを目的に、15回実施した。年間20回の講座・講話を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5回中止し、1回はYouTubeで動画配信講座に切り替えて実施した。 学級生 33人	令和3年度は、33名が学級生となった。
25		学習会などに参加しやすい環境の整備	社会教育課	託児環境の普及など、保護者が学習会などに参加しやすい環境をつくります。	託児の実施率	100%	100%	100%	家庭教育学級講座時託児 12回実施 託児利用者数 延べ21人	
26		家庭教育学級の弾力化	社会教育課	チラシや広報紙による研修の周知をおこないます。	-	-	-	-	年度当初に、学級生募集及び毎月の講座開催情報をホームページに掲載した。また、一般市民が参加できる講座の周知を、広報なかかわ、母子手帳アプリ「nobinobi」に掲載し、併せて市内公共施設等へチラシの配布を行った。市公式YouTubeチャンネルに、事前学習動画を配信した。	

### 基本施策（3） 子育て家庭の生活を支える

27	1. 子育て家庭への生活支援の充実	自立支援教育訓練給付金等の活用促進	こども応援課	母子家庭の母親及び父子家庭の父親の就労を支援するため、自立支援教育訓練給付金等の活用を促進します。	-	-	-	-	窓口やホームページ、子育てポータルサイトnobinobiで給付金の周知を行った。 自立支援教育訓練給付金 1件(看護師)、高等職業訓練促進給付金 1件(看護師)、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 0件	
		経済的支援制度の普及促進	こども応援課	経済的に困窮するひとり親家庭等に対し、福岡県の貸付制度などの紹介や活用をサポートします。	-	-	-	-	窓口やホームページ、子育てポータルサイトnobinobiで県の貸付制度などを紹介した。 貸付の相談はあったが、貸付には至らなかった。	貸付申請 0件、借入書の受付 0件、在学証明書の受付 0件、各種変更届等の受付 0件、各種通知書の交付 0件
29	2. 子育ての経済的負担の軽減	乳幼児にかかる医療費の助成	市民課	子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、乳幼児の医療受診を促進し、健やかな育成を支援するため、乳幼児にかかる医療費の一部を助成します。	助成対象	小学生未満	小学生未満	小学生未満	健康保険の給付対象となる医療費について、自己負担分を全額助成した。 対象者数 (R4.3未現在) 3,233人	
		入院が必要な未熟児にかかる医療費の助成	市民課	子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、乳児の健全な育成を図るため、乳児にかかる医療費の一部を助成します。	-	-	-	-	医療費の自己負担分の一部を助成し、こども医療と併用することで自己負担分を全額助成した。 助成件数 29件	医療費助成額 3,114,557円
31		児童にかかる医療費の助成	市民課	子育てにかかる保護者の経済的な負担を軽減するとともに、児童の医療受診を促進し、健やかな育成を支援するため、児童にかかる医療費の一部を助成します。	助成対象	小学校1年生から	小学校1年生から	小学校1年生から	健康保険の給付対象となる医療費について、外来については自己負担分1,200円/月（医療機関毎）を超える額を、入院については全額を助成した。 対象者数 (R4.3未現在) 4,644人	平成28年10月1日の制度拡大により、目標達成済み。
						中学校3年生まで	中学校3年生まで	中学校3年生まで		
32		ひとり親家庭等への医療費助成	市民課	ひとり親家庭の経済的な負担を軽減するとともに、ひとり親世帯の家族の医療受診を促進し、健全な家庭環境の育成を支援するため、ひとり親家庭にかかる医療費の一部を助成します。	-	-	-	-	健康保険の給付対象となる医療費について、外来については自己負担分800円/月（医療機関毎）を超える額を、入院については500円/日（月7日限度）を超える額を助成した。 対象者数 1,073人 (R4.3未現在)、助成件数 11,257件	助成額 33,186,638円
33		児童扶養手当の支給	こども応援課	児童扶養手当法に基づく経済的支援を通じてひとり親家庭等を支援します。	-	-	-	-	受給者数 531人 (R4.2未現在)	
34		児童手当の支給	こども応援課	児童手当法に基づく経済支援を通じて、中学生以下の子どもを養育する家庭を支援します。	-	-	-	-	受給対象児童数 7,718人 (月平均)	一般受給者（児童手当 延88,515人、特例給付 延 3,863人） 施設等受給者（児童手当 延240人） 計 月平均7,718人
35		学童保育所利用料金の助成	子育て支援課	生活保護受給世帯や児童扶養手当受給世帯、市民税非課税世帯など、経済的に生計が厳しい世帯に対して、学童保育所の利用料金に対する助成を行います。	-	-	-	-	助成世帯数 67世帯	
36		里親制度の普及・推進	こども応援課	両親が育てられない子どもを健全に育成するため、県の里親制度の普及を促進します。	里親の登録状況	-	-	4世帯	子育てに関する相談を受ける中で、必要に応じて里親に関する情報の周知を行った。令和2年度から、里親に関する業務は児童相談所の業務となったため、世帯数を把握していない。	

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
37		実費徴収に係る補給給付を行う事業の検討	子育て支援課	低所得世帯を対象に、特定教育・保育施設等が実費徴収する日用品や文房具等の購入に要する費用、行事への参加に要する費用などについて費用の一部を補助する事業の検討を行います。	-	-	-	-	これまで担当課で検討してきたが、具体的な事業の実施には至っていない。	

**基本目標 2 子どもが健やかに育つための体制づくり**

**基本施策 (1) 子どもの人権を守るとともに、人権教育を進める**

38	1. 人権教育の充実	就学前児童における人権・同和教育の充実	子育て支援課 (幼稚園)	保育所、幼稚園において国際交流や障がいのある子どもとの交流を行い、様々な人とふれあう機会を増やすなど、人権・同和教育を推進します。	人権週間、同和問題啓発強調月間時の取り組み実施	各園2回実施	各園2回実施	年2回実施		人権・同和教育推進計画に基づき、幼稚園における人権・同和教育は、日々の教育活動そのものであるという共通の認識の下、日頃より一人一人の人権が尊重される環境を整えている。同和問題啓発強調月間、人権週間の取り組みについては、毎年、幼児、保護者にわかりやすく伝わるような取り組みの工夫をしている。人権感覚を育む親子読書の実施はしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、恵子児童館子どもまつりや人権フェスタでの職員による絵本等の読み聞かせは実施できなかった。人権フェスタは、園児の作品展示のみ行った。
39		学校における人権・同和教育の充実	教育指導室	一人ひとりの子どもを大切にす個に応じた教育を行い、人権尊重精神をはぐくむ取組を推進します。また、様々な人とふれあう機会の充実を図ります。	-	-	-	-	4月に那珂川市に新たに赴任した先生を対象とした人権問題研修会を開催した。那珂川市同和問題啓発強調月間、学習会を10回実施し、各学校の代表者による協議を行った。「人権・同和教育実践交流会」を各学校で実施し、研修の充実を図った。	
40		解放子ども会の実施	人権政策課	同和地区の子ども達が部落差別に負けない力を養うとともに、人権の大切さや人を思いやる心を育むため、人権学習や学力促進学級等年間を通した活動を行います。	-	-	-	-	小中学校を対象に人権学習や学力向上の学習等を行うチャレンジ教室を開催した。小学生部 (回数 86回、参加人数 367人) 中学生部 (回数 24回、参加人数 55人)	小学生部 (登録 7人) 中学生部 (登録 2人)
41		人権作文・人権ポスター・人権標語の募集・表彰	人権政策課	人権感覚を高め、人権・同和教育を推進するため、市内の小中学校、中学校、高校の児童、生徒から人権作文、ポスター、標語等の作品を募集し、優秀賞作品の展示及び表彰等を行います。	-	-	-	-	市内の小中学校、中学校、高校の児童、生徒から人権作品を募集し、優秀作品を人権フェスタにて展示した。また、各学校の代表者に対し、人権フェスタの開催式にて表彰を行い、なかでも人権作文については、小学校の部、中学校の部からそれぞれ1人、開催式にて作文の発表を行った。	応募214作品
42		恵子児童館子どもまつりの開催	人権政策課	将来を担う子どもの人権意識を高め、人権のまちづくりを進めていくために、恵子児童館子どもまつりを開催します。	参加人数	-	563人	1,800人	新型コロナウイルス感染症の影響により5月の開催を延期し、冬休み期間中にウェブ開催をした。また、恵子児童館でもブランキットの配布等を行った。	特設サイト閲覧数 376人 児童館来館者数 10月4日: 121人、10月5日: 66人
43		人権フェスタなかがわの実施	こども応援課	市民の人権意識を高め、人権のまちづくりを進めていくため、「人権フェスタなかがわ」を実施します。	-	-	-	-	ふれあいこども館を人権フェスタなかがわの実会場とし、市立幼稚園の園児の作品や図書館の布絵本などを展示したほか、恵子児童館によるブランキット製作キットの配布を行った。子どもの権利条約の子どもにとって大切な4つの権利をポスターにし、絵を添えて掲示した。	
	人権政策課		参加人数	0人	843人	3,000人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施し、ステージ発表及びバザー等を中止した。			
44		児童館事業の充実	人権政策課	恵子児童館事業の更なる充実を図っていくためふれあいこども館と連携しながら、児童館が開催する市民への人権啓発イベントや各種事業などの企画・運営を行います。	-	-	-	-	山のぼりやジャム作り等のイベントを通じた交流・体験活動のほか、西畑で手作りこんにやくづくり見学を実施した。また、様々な状況にある中学生が安心して各々の活動に取り組めるようにするため、放課後から18時までの間を開放し、居場所づくりを実施した。	児童館クラブ エコエコキッズクラブ: 6回、児童館クラブ: 8回、ワンバククラブ: 2回 延参加者数: 313人 特別企画 実施回数: 1回、参加者数: 8人 中学生の居場所づくり
	こども応援課		-	-	-	-	ふれあいこども館と恵子児童館との連絡調整会議を行い、情報の共有を含め、相互の取り組みについての意見交換を実施した。また、相互の月間チラシを掲示するほか、子育てステップアップセミナー (恵子児童館主催) や出前広場 (ふれあいこども館主催) などのプログラムも実施した。			
45		保護者に対する人権教育の推進	社会教育課	子どもの人権を守るため、家庭教育学級で人権教育に視点をのいた講座を実施します。また、市内の社会教育団体を対象に人権研修会等を開催します。	開催回数	3回	18回	60回	家庭教育学級の1回において、人権教育を視点を置き、子どもの自尊感情、発達障がい、ネグレクトなどのテーマで講座を行った。社会教育団体対象の人権問題研修会を7月同和問題啓発強調月間に5回、各区公民館人権問題研修会を12行政区実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の多くを中止した。	
46		教職員、保育士に対する人権研修の促進	子育て支援課 (中央保育所)	教職員や保育士を対象とした人権研修会を実施します。また、市独自の教職員研修等の充実を図るとともに、市内外で開催される各種研修会や研究会などへ職員が参加するよう積極的に参加を促進します。	同和問題強調月間に開催される人権・同和問題研修への教職員参加者の割合	100%	100%	100%		同和問題講演会 参加人数 3人 筑紫地区人権・同和教育研究会 (オンラインにて) 参加人数 14 / 19人 福岡県同教 人権保育基礎講座「人権保育・教育への道しるべ」参加人数2名 福岡県同教 第3回人権保育基礎講座「人権教育・啓発を考える」同和問題研修 (保育所内) 19/19×2回
	教育指導室		-	-	90%	実施した研修会等には可能な最大限の人数が参加することができた。那珂川市同和問題啓発強調月間 (6月) コロナ制限により教職員の30%が参加 那珂川市同和問題講演会 (7月) コロナ制限により教職員の10%が参加 那珂川市同和問題実践交流会 (8月) 各学校で実施 全員参加 那珂川市同和問題研修会 (12月) オンライン実施 全員参加 校園長会 研修会 (7月) 「那珂川市部落差別の解消の推進に関する条例について」 全校長参加	乖離理由: 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場人数に制限が設けられたため。			
47	2. 児童虐待やいじめ等への取り組みの充実	啓発冊子「あしたへ生きる」の発行	人権政策課	同和問題を始めとする様々な人権問題について、市民への啓発を行うため、啓発冊子「あしたへ生きる」を発行します。	発行回数	年0回	年1回	年1回		啓発資料編集委員会にて冊子を作成し、12月に各戸配布を行った。配布数 19,543冊
48		休日の防止のための教職員等への人権教育	教育指導室	学校における生徒指導において、体罰を行うことのないよう、教職員等の研修や指導を徹底します。	-	-	-	-	校園長会を通じて「体罰は絶対に許されない」という指導を行った。不祥事防止の取組として、各学校での研修や面談を行った。	
49		児童虐待防止対策の推進	こども応援課	児童虐待に関して、広報などを通じて防止を呼びかけるとともに、虐待を行う保護者や虐待を行う恐れがある保護者のケアや助言を行うため、家庭児童相談員や保健師等による家庭訪問や見守りを行います。	-	-	-	-	「要保護児童対策地域協議会」「児童家庭支援関係者連絡会」で情報共有や連携を図り支援介入の状況・対応について協議した。市内小中学校や幼稚園・保育園などと情報交換会を行い支援が必要な児童の早期発見や支援方法について対策を協議した。	・児童虐待相談 33件 ・養護相談 (虐待以外) 34件 ・児童の一斉保護 2件 ・通報件数 24件
	健康課		-	-	-	母子手帳交付時や乳児全戸訪問、乳幼児健診で把握したケースに対し、虐待のリスクが高い場合はこども応援課との情報共有を行い、早期に支援介入を行った。	こども応援課同伴の乳幼児家庭全戸訪問76件、保健師養育支援訪問131件			
50		「要保護児童対策連絡協議会」の設置・運営	こども応援課	児童虐待に効果的に対応するため、「要保護児童対策地域協議会」を継続して設置し運営します。	-	-	-	-	代表者会1回 (書面)、実務者会議153回、ケース会議15回開催し、必要な情報の交換及び支援内容の協議検討を行った。	
51		適応指導教室の充実	教育指導室	適応指導教室では、登校できない状況にある児童生徒に対し、適切なケアや指導、助言を行えるよう、指導力の充実を図ります。	-	-	-	-	不登校対策委員会を通じて、各学校の状況を把握するとともに、適切に指導・助言した。筑紫地区全体での連絡協議会を実施し、適応指導教室の運営や連携強化を図った。SSWや児童生徒指導支援員が学校や家庭で生徒や保護者に対して相談を行い、適応指導教室への登校につなげた。	

**基本施策 (2) 子どもの個性と可能性を伸ばす教育を進める**

52	1. 就学前の保育・教育の充実	就学前教育に係る職員研修の実施	子育て支援課 (中央保育所)	教員、保育士としての意識や技術を高め、質の高い就学前教育・保育を行うため、各施設	外部研修参加回	1人2回以上	1人2回以上	年2回		
----	-----------------	-----------------	----------------	--	---------	--------	--------	-----	--	--

NO	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
			子育て支援課（幼稚園）	園内外での研修の積極的な参加と実施を推進します。	数	1人2回以上	1人4回以上	1人1回以上		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン研修がほとんどで、外部研修に参加しやすかった。教師の資質向上、保育の質の向上のための研修会に積極的に参加、また、那珂川市立幼稚園が主催する研修会（オンライン）を開催することができた。
53		幼稚園運営検討・研修の実施	子育て支援課（幼稚園）	園児の就園状況の推移や職員の配置状況を見定めながら、今後の幼稚園運営の在り方を検討するとともに、園の教育目標達成に向けて園長・主任会研修を実施します。	研修会開催回数	年13回	年13回	年12回以上		那珂川市立幼稚園の運営の在り方、教育の在り方等について、研修、協議を重ね、共通理解を図ることができた。

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
54	施設の整備促進	子育て支援課（中央保育所）		保育所や幼稚園の施設の不具合によってケガや事故が発生しないよう、定期的な施設の整備や点検を実施します。また、保育中の事故が発生しないよう、事故防止に関する職員研修等を実施します。	点検回数	事故防止の会議 年1回、 毎日点検	事故防止の会議 年1回、 毎日点検	事故防止の会議 年1回、 毎日点検		事故防止のための確認会議 1回 固定道具（滑り台、ブランコ、鉄棒、うんてい、ログハウス、おもちゃハウス）の点検を毎日行い、「点検チェック表」に記入し、不具合がある場合は改善する。
		子育て支援課			遊具の点検回数	2回	2回	2回		
55	私立保育所の施設整備に対する支援	子育て支援課		認可私立保育所においても、安全な保育環境の維持ができるよう、必要に応じて施設整備に対する支援を行います。	-	-	-	-	現時点で施設整備に関する要望はない。認可私立保育所と連携を図り、必要に応じて支援を行う。	
56	2.学校教育の充実	基礎学力指導の徹底	教育指導室	「確かな学力」と「生きる力」を育むため、基礎学力の定着に向けた教科学習を就学時より徹底していきます。	-	-	-	-	ICT機器の効果的活用により授業改善を図った。「なかがわスタンダード」に基づく「学習基盤づくり」「『教えて考えさせる』授業づくり」市主催のICT教育に関する研修を充実させた。研究指定校（モデル校）等による実践・普及に取り組んだ。	
57	学校外活動の推進	教育指導室		子ども達が地域や自然に触れ、豊かな情操を育むとともに、人々とのふれあいの中から社会性を学び仲間づくりができるよう、学校外での教育活動の実施を推進します。	宿泊を伴う校外活動の実施校数	7校	9校	10校	小学校は自然教室・修学旅行等を実施することができたが、中学校における修学旅行は1校だけ新型コロナウイルス感染症の影響により翌年度の実施となった。	
58	学校における授業研修体制の確立	教育指導室		教員の資質を高めるため、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習に対する定期的な校内研修や研究発表会等を実施します。	小中学校授業改善研究会の開催校数	1校のみ オンライン	2校	2校	那珂川中学校、安徳小学校で授業改善研究大会を実施した。新型コロナウイルス感染防止対策のため、安徳小学校はオンラインで実施した。	
59	総合的な学習の推進	教育指導室		変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見つけ、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることに主眼を置いた教育を行うため、小中学校での、総合的な学習の充実を図ります。	-	-	-	-	小学校ではプログラミング教育を行い、ロボットや自動車の模型を動かしたり、イルミネーションを光らせたり、リズムづくり等を行った。中学校では新型コロナウイルス感染症の影響で職場体験は実施できなかったが、高等学校1日体験やICT機器を活用して調べ学習などの充実を図った。小中学校ともにキャリア教育など、ゲストティーチャーを招いて、小集団やオンラインでの学習を行った。	
60	地域運営学校（コミュニティスクール）の導入・実施	学校教育課		市内全小中学校で実施されている学校運営協議会において、地域と保護者も参画した学校運営の充実を図ります。	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により、回数を減らして各学校で実施した。中学校ブロックで確認し、小中連携してノーマディアの取組みや家庭学習の充実に取り組んだ。	
61	地域人材活用による教育支援の充実	学校教育課		市内小・中学校におけるボランティア活用による教育の充実に一層努め、地域に開かれ、地域と共に進める教育のさらなる充実に努めます。	学力アップ地域人材活用事業実施校数	0校	1校	10校	新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの学校で長期休業中等の学習会が実施できなかった。	
62	学校施設の改善	教育総務課		ゆとりある教育環境をつくるため、児童生徒数や学級に応じた施設の整備を行います。	-	-	-	-	学級数が増えた場合は、普通教室に転換可能な教室を充てること等で対応した。	
63	3.保幼小の連携強化	子育て支援課（中央保育所）		保育所や幼稚園での就学前教育や保育の資質向上を図るとともに、小学校への円滑な就学を支援するため、保育所・幼稚園・小学校間において情報交流などを行います。	保・幼・小連絡会開催	年1回	年0回	年2回	毎年、保幼小連絡会における情報交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった。就学先の小学校と文書や電話等、また、必要に応じて、個別に見学に来ていただいたり、小学校に伺ったりすることによる、情報の交流を行った。	
		子育て支援課（幼稚園）				年1回	年0回	年3回	毎年、保幼小連絡会における情報交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった。就学先の小学校と文書や電話等、また、必要に応じて、個別に見学に来ていただいたり、小学校に伺ったりすることによる、情報の交流を行った。	

基本施策（3） 障がいのある子どもの成長を支援する

64	1.障がいのある子どもが家庭に対する相談体制等の構築	こども応援課			-	-	-	-	ケース会議15件のうち、障がいのある子どもが家庭は9件であった。養育環境や保護者の育児能力、発達の問題など様々な要因が複数あるケースが増加している。	
		障がい者支援課		保健・福祉・教育等の関係各課が連携し、問題の早期発見から就学前の一貫した相談・支援を行うため「ケース検討会議」を開催します。	-	-	-	-	個々のケースに応じて、関係各課とケース検討会議を行い、関係各課が連携して支援を行える体制をとった。	
65	保護者団体等への支援	障がい者支援課		障がいのある子どもとその保護者が日常的に様々な活動ができるよう、保護者などで組織する任意団体に対する支援を行います。	-	-	-	-	障がいのある子どもとその保護者などの社会参画を図ることを目的とした団体へ助成金を交付するなどし、活動を支援した。助成団体：2団体	①こどもの発達を考える親の会のぞみ ②キャンパス
66	療育指導等の充実	子育て支援課		療育センターにじいろキッズにおいて、療育が必要な子どもの成長を支援するため、療育に関する相談や療育指導等の充実を図ります。	-	-	-	-	個別療育 (延べ) 544人 (実人数) 497人 グループ療育 (延べ) 263人 (実人数) 219人 巡回相談 (延べ) 459人 (実人数) 371人 コンサルテーション (延べ) 33人 (実人数) 31人 来所相談 (延べ) 875人 (実人数) 734人	
67	特別児童扶養手当の紹介・受付	こども応援課		特別児童扶養手当法に基づく経済的支援を通じて障がい児をもつ世帯等を支援します。	-	-	-	-	特別児童扶養手当の支給要件に該当する児童を持つ保護者に対して、申請の案内、受付を行った。受給権者数 145人（令和3年12月末）	
68	重度障害者医療費助成の実施	市民課		重度の障がい児の保健の向上と福祉の増進、経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。	-	-	-	-	健康保険の給付対象となる医療費について、外来については自己負担分500円/月（医療移管費）を超える額を、入院については500円/日（月20日限度、中学生までは月7日限度）を超える額を助成した。助成件数 7,126件（後期分除く全件）	医療費助成額 54,878,798円（後期分除く医療費助成金額）
69	2.障がいのある子どもへの福祉サービスの充実	障がい児機能回復訓練教室の開催	障がい者支援課	障がい児の健康維持・増進及び機能向上を支援するため、水中運動やレクリエーションを取り入れたプール教室を開催します。	-	-	-	-	障がい児の健康維持・増進及び機能の向上のため、プール教室を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による事業実施施設の休館に伴い、当初予定46回から37回に減少した。利用者数 19人	
70	障害福祉サービス等の普及	障がい者支援課		障がい児の日常生活を支援するため、短期入所（ショートステイ）、居宅介護（ホームヘルプ）、移動支援、日中一時支援、放課後等デイサービス、通所支援などに関する情報提供を充実します。	-	-	-	-	障がい福祉のびき「ふれあい」を作成し窓口での配布やホームページでの掲載を行った。また、障害者手帳交付時や窓口での相談受付時に障がい福祉サービス等の制度説明を行うことで情報提供の充実に努めた。	
71	身体障がい児補装具費の給付	障がい者支援課		身体障がい児をもつ世帯の経済的負担を軽減するため、補装具購入及び修理に関する費用の給付を行います。	-	-	-	-	障害者総合支援法により定められた品目（車いす、補聴器等）、を対象となる障がい児をもつ世帯に給付した。給付実績 8件	(内訳) 購入4件…下肢装具1件、車いす（普通型）1件、車いす（手押し型）1件、座位保持いす1件 修理4件…座位保持装置1件、補聴器1件、車いす（普通型）1件、車いす（手押し型）1件
72	障がい児日常生活用具費の給付	障がい者支援課		障がい児をもつ世帯の経済的負担を軽減するため、日常生活用具購入に関する費用の給付を行います。	-	-	-	-	那珂川市障害者等日常生活用具給付事業実施要綱に定められた品目を、対象となる障がい児をもつ世帯に給付した。給付人数 10人 給付件数 70件	(内訳) ストーマ用装具蓄便袋8件、ストーマ装具代替品（紙おむつ）60件、電気式たん吸引器2件
73	3.障がいのある子どもに対する保育・教育の充実	障がい児保育・教育の推進	子育て支援課	障がいのある乳幼児が、保育所や幼稚園、学童保育所などに支障なく入所(園)できるよう、保育士や教員を加配できる制度を整備します。【障がい児保育事業費補助】	-	-	-	-	私立保育所：障害児保育補助金 2園 学童保育所：補助金交付対象児童数 22人（年度途中退所者含む）、加配指導員 14人	

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
74		障がい児の一般学級への受け入れ促進	子育て支援課	障がいや個性のある乳幼児も普通に保育所や幼稚園に入園ができるよう、保育士や教諭の加配を行い、受入体制を整えます。	-	-	-	-	中央保育所：加配保育士 6人 公立幼稚園：特別支援教育支援員 2人（岩戸 1人、岩戸北 1人） 特別支援教育専任講師 3人（岩戸 1人、岩戸北 2人）	
75		学童保育所指導員を対象にした研修会の実施	子育て支援課	学童保育所における障がい児保育の資質を向上するため、指導員研修会を実施します。	研修会の開催数	2回	2回	1回		指定管理者において、支援員を対象とした研修を行った。 全支援員を対象とした内部研修 1回 外部講師による参加任意の研修 1回
76		特別支援学級の充実	学校教育課	特別な支援が必要な児童・生徒への教育及び支援を行うため、小中学校に特別支援学級及び通級指導教室の充実を図っていきます。	特別支援学級及び通級指導教室への就学希望者が就学した割合	100%	100%	100%		那珂川市の全ての小中学校に特別支援学級を設置し、児童生徒の障害や特性に応じて個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた指導や支援を実施している。また、岩戸小学校、岩戸北小学校、安徳小学校、那珂川中学校に通級指導教室を設置し、特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒の教育を行っている。



NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
77		障がい児保育に関する職員研修の充実	学校教育課	障がいに応じた保育や教育ができるよう、障がい児保育や教育に関する研修への保育士や教諭の参加を促進します。	研修参加者数	20人	30人	20人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数や回数に制限はあるが、特別支援教育コーディネーター研修会を3回実施した。今後も障がいのある児童の保育や教育に関する理解や実践力を高めるため、可能な限り実施していく。	
			子育て支援課（中央保育所）			6人	2人	100%		
78		障がい児保育の環境改善	教育総務課	障がいを持つ子どもも支障なく移動でき安全に過ごせるよう、施設の改善を行います。また、民間施設へのユニバーサルデザインの周知を徹底します。	-	-	-	-	スロープ、エレベーター、多目的トイレの設置をしている。	エレベーター未設置 南中（R4設置）、南畑小

基本施策（4） 地域での体験や活動ができる環境をつくる

79	1. 地域での体験活動の充実	歴史体験学習の実施	文化振興課	先人の知恵や技術を学び歴史に対する理解を促すために、草木染めや勾玉づくりなど古代の技術を学ぶ体験学習を実施していきます。	古代技術の体験学習実施回数	1回	3回	5回	古代の草木染めを1回、まが玉づくり2回実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止した。	歴史体験学習は、古代人の生活と様々な工夫の一端を体験することで、先人の知恵と技術を学び、また自然保護や相互協力の大切さを学ぶことを目的として、「古代の草木染め」と「まが玉づくり」を実施している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策としてそれぞれ開催時間を短縮し、「まが玉づくり」については一日に2回、全6回に増やし実施している。・古代の草木染め：1回実施/全1回、まが玉づくり：2回実施/全6回 参加者 28名（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回のみ実施（4回中止）	
		伝統行事を取り入れた保育行事の実施	子育て支援課（中央保育所）	郷土に対する愛着の心を育むため、地域の伝統行事を取り入れた保育を推進します。【どんど焼き・もぐら打ち】【もちつき】【七夕まつり】	取り入れた地域行事回数	1回	1回	3回	地域ボランティア指導のもと、しめ縄づくりを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東隈シニアクラブ指導による普通遊びや餅つき、那珂川苑との七夕交流、福祉センターデイサービスとの夏祭り交流、どんど焼き・もぐら打ちを中止した。		
		体験型プログラムの実施	こども応援課	子どもたちの豊かな人間性と、自ら考え、学ぶ力を育てていくため、ふれあいこども館及び児童館で小学生を対象にした体験型プログラム等を実施します。	体験型プログラムの実施回数	4回	13回	54回	普通遊び寺小屋、わくわくマジックスクール、ニューススポーツ体験広場、かたらんね野遊隊、ジュニアグランプリを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止した。		
			人権政策課	児童館企画・クラブの実施回数	7回	17回	20回	山盛りやジャム作り等のイベントを通じた交流・体験活動を行う児童館クラブのほか、特別企画として手作りこんにやく作り見学を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止した。			
		高齢者などとの異世代交流保育の実施	子育て支援課（中央保育所）	様々な人とのふれあいによって、豊かな心を育むため、老人福祉施設への訪問など、認可保育所における異世代交流の実施を推進します。	交流回数	1回	1回	1回	地域ボランティア指導のもと、しめ縄づくりを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東隈シニアクラブ指導による普通遊びや餅つき、那珂川苑との七夕交流、福祉センターデイサービスとの夏祭り交流、どんど焼き・もぐら打ちを中止した。		
		中学生との交流イベントの開催	学校教育課	中学生が人を思いやる優しい心を育むため、また、園児が人とのふれあいの機会を広げるため、中学生と園児の交流を実施します。	中学生の保育所職場体験の実施回数	0回	0回	1回	毎年、中学2年生が職場体験学習の中で、市立の幼稚園・保育所、私立の幼稚園・保育所等に行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。		
			子育て支援課（中央保育所）			0回	0回	3回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。		
		ジュニアボランティアスタッフの育成	こども応援課	ふれあいこども館の様々な取り組みの中で異世代交流を実施します。	-	-	-	-	市民文化祭の準備や当日の担当、クリスマスイルミネーションの設営などを職員と行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児や小学生とのふれあいができなかった。		
		おはなし会の実施	人権政策課	乳幼児の読書に対する興味を深め、想像力を豊かにするため、乳幼児とその保護者を対象にした、おはなし会の実施を支援します。	おはなし会の実施回数	8回	7回	12回	読み聞かせ、手遊び、パペット、ハンカチ遊び、折り紙作成など乳幼児と保護者を対象に実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止した。 参加者数：138名		
		読書相談等業務の充実	文化振興課	子どもが利用しやすい図書館とするため、読書相談や検索システムなどの体制を充実させます。	-	-	-	-	毎月、学校図書館司書との情報共有を行い、学校図書館司書を通じて生徒の読書に関する相談を受けた。必要に応じて資料の提供も行った。子どもから直接的な相談もあるが、「読みたい本が何か」がわからない子どものためにも、テーマ展示の場所を増やす等、本に興味を持ってもらいやすい環境整備に努めたほか、学校や団体への貸出、見学受入、職員派遣を行った。令和4年3月に図書館システムを入れ替え、検索において本の表紙画像も表示される仕様となっており、子どもでも本が探しやすいうようにした。同時期に図書記録通帳機『かわせみ通帳』も導入し、自分が読んだ本の記録を蓄積できるようにした。		
		図書の入替え	文化振興課	地区公民館の図書室を充実したものにするため、市立図書館からの図書の借り受けを行います。	図書の入替え回数	5回	6回	6回	那珂川市図書館から2か月に1回200冊を借り受け、北地区公民館図書室-中央公民館図書コーナー-南地区公民館図書室のサイクルで、図書の入替えを行った。また、9月から借り受け冊数を50冊増やし、250冊の借り受けに変更した。		
		児童館主催事業等への講師の派遣	文化振興課	児童館及び各区公民館、子ども会等主催事業への講師派遣を実施します。	-	-	-	-	依頼がなく、講師を派遣していない。		
		ふれあいこども館、市立公民館との連携	こども応援課	子育てサークルが活動しやすい環境をつくるため、ふれあいこども館と市立公民館が連携し、活動の場の提供や事業参加を促進します。	サークル数	2団体	4団体	5団体	サークル登録の周知は、ふれあいこども館の窓口やホームページで行った。登録されたサークルは、ふれあいこども館施設利用（原則月1回まで）や、市立公民館の使用料全額免除の支援や取扱いをできるようにした。		
		2. 活動の場と人材の確保	子どもの遊び場の確保	人権政策課	ふれあいこども館及び児童館を子どもが安心して遊べる場として、提供します。	-	-	-	-	恵子児童館を子どもが安心して遊べる場所として開放した。	子どもの利用者数 R2 2,890人、R3 4,832人
				こども応援課		-	-	-	-	ふれあいこども館を子どもが安心して遊べる場所として開放した。	0~5歳児 6,380人 小学生 1,496人
		リーダー養成事業の実施	社会教育課	将来の地域活動の担い手を育成するため、団体が実施する小中学生リーダー育成事業の支援を行います。	-	-	-	-	令和3年度より、地域学校協働活動放課後子供教室において、地域の青少年が主体となったレクリエーション体験教室を実施することで、児童に対し地域リーダーのロールモデルとの関わりを持たせることができた。今後も、地域学校協働活動推進員と連携を取り、地域の青少年ボランティアを中心としたリーダー育成につながる体験活動の機会提供を行う。		
		那珂川市ボランティア支援センター講座の実施	総務課	ボランティア・NPO団体等の活動を支援することにより、協働のまちづくりのパートナーの育成を図る講座を実施します。【ジュニアボランティア講座】【子育て応援講座】	子ども・子育て支援等講座の種類	0テーマ	1テーマ	2テーマ	令和3年8月3日から6日までの4日間、「夏休みジュニアボランティア体験」を実施した。コロナ禍でも開催できるよう、人数を制限し時間も短時間に工夫を行った。令和4年度はジュニアボランティア体験に加え、子育て支援をテーマに地域活動応援講座を実施する予定である。	夏休みジュニアボランティア体験 4日間とも参加された方が4人、3日目のマジック体験のみ参加された方が5人の計9人が参加。	
		ボランティア・NPO団体等のコーディネート促進	総務課	ボランティア・NPO団体等の活動を支援し、地域の人を支え・交流をもてるよう、コーディネートを実施します。	-	-	-	-	地域活動応援講座として「スマホについて詳しくなろう！」を開催した。また、受講者の疑問等の解決の場として、スマホフォローアップ講座も開催した。開催により、これまで対面では情報が共有していなかったが、LINE等のSNSを活用しタイムリーに情報共有をする団体も出てきた。		

基本目標 3 子育て家庭を支えるための地域づくりの推進

基本施策（1） 男女がともに子育てできる環境をつくる

94	1. 男女共同参画の推進	男女共同参画プランの進行管理	人権政策課	進行状況については公表するとともに、男女共同参画審議会で内容の検証を行うことで、プランの推進につなげます。	プランの進捗率	88%	84%	96%	男女共同参画プラン推進状況報告書を作成し、各公共施設への設置やホームページへの掲載により公表するとともに、男女共同参画審議会で報告し、内容の検証を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止や縮小をした。	
		男女共同参画啓発冊子の発行	人権政策課	男女共同参画の啓発及び意識の普及のために、冊子の各戸配布を継続して実施します。	冊子の発行回数	0回	1回	1回		事業名：男女共同参画啓発冊子「パートナー21」発行 事業内容：3月に各戸配布を行った。配布数 19,500冊

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
96	2. 男性の子育て参加の促進	男性が子育てに関わる機会の提供	こども応援課	男性の子育て参加を推進するため、男性を対象とした催しを行います。	実施回数 参加者数	5回 37人	5回 70人	18回 750人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ふれあいこども館プログラム（サンデーあそぼっ、プレパパママ講座）の実施回数が減少した。	
			人権政策課		-	-	-	男性の子育てをテーマとした講演会や講座は実施しなかった。		

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
<b>基本施策(2) 子育てと仕事の両立を支援する</b>										
97	1.多様な保育サービスへの対応	認可保育所による保育の実施	子育て支援課	保護者が仕事や病気などで保育できない乳幼児を保育するために、認可保育所による保育環境を提供します。	定員	1,218人	1,228人	1,368人	認可保育所定員 中央保育所 200人、青葉保育園(本園) 165人、青葉保育園(分園) 30人、 那珂の森保育園 120人、青葉桐の花保育園 180人、ながわ保育園 180人、 那珂川道善コスモス保育園 200人 認定こども園定員 パティスポーツ幼稚園 40人、那珂川第一幼稚園 75人 小規模保育施設定員 第二ながわ保育園 19人、那珂川片縄コスモス保育園 19人	
98		待機児童のない施設環境整備	子育て支援課	認可保育所における待機児童をなくすため、利用者ニーズを把握しながら保育定員の拡充を図ります。保育施設の増設、増築などの施設整備に対する支援を行います。	4月1日の待機児童数	40人	4人	0人	令和3年4月より中央保育所の定員増(10人)及び定員の弾力的運用等により、昨年度と比較して待機児童数は36人減少した。	
99		保育時間の拡大	子育て支援課	認可保育所において、通常保育外の時間帯の保育を保護者ニーズを踏まえて実施します。【延長保育事業】	保育時間	12時間	12時間	12時間	7時から19時まで(18時から19時までは延長保育)実施した。	
100		休日保育の実施検討	子育て支援課	認可保育所における日曜日や休日の保育について、ニーズを踏まえて検討を行います。	実施施設数	0施設	0施設	1施設	認可保育所における日曜日や休日の保育については、利用者からの要望等もなかった。要望等があれば、那珂川市保育所連盟と協議及び検討を行う。	
101		子育て短期支援事業の実施	こども応援課	保護者の疾病や仕事等により児童の養育が一時的に困難となった場合、または育児不安や育児疲れ等の身体的・精神的負担の軽減が必要となった場合に、児童を児童養育施設等で一時的に預かる子育て短期支援事業(ショートステイ事業)を実施します。	-	-	-	-	子育て短期支援事業を実施しているが、申請件数は0件だった。	平成28年4月より、子育て短期支援事業を開始。
102		一時預かり事業の実施	子育て支援課	一時的に保育が必要となる家庭のために、認可保育所・幼稚園等における一時預かりを実施します。	実施施設数	6か所	7か所	7か所	認可保育所 青葉保育園(本園) 延べ3人、那珂の森保育園 延べ2人、青葉桐の花保育園 延べ14人、 ながわ保育園 延べ29人、那珂川道善コスモス保育園 延べ9人 認定こども園 パティスポーツ幼稚園 延べ825人、那珂川第一幼稚園 延べ5,364人	
103		病児・病後児保育の実施	こども応援課	子どもが病気で仕事や休むことができない親等をサポートするために、病児や病後児保育を実施する施設を整備します。	病児・病後児保育を実施する施設数	1か所	1か所	1か所	生後90日から小学校6年生までの児童を対象に、キッズデイケアルームながわで実施している。 利用者数 288人	委託先 かく小児科医院 定員 1日4人 登録者数 1083人、
104		保育所職員の研修等への参加促進	子育て支援課(中央保育所)	保育所職員の資質を高めるため、施設内で定期的に研修会を開催するとともに、施設外で行われる研修会等への参加を促進します。	研修会の実施回数	4回	3回	2回		
105		届出(認可外)保育施設への支援	子育て支援課	市内の届出保育施設の保育環境を向上し、民間保育サービスにおける安全・衛生を確保するため、届出保育施設に対する支援を行います。	施設利用児童に対する補助対象者率	100%	100%	100%	届出保育施設を利用する児童の健康診断受診に対して補助を行った。 Kid'sKiss博多みなみ保育園 22人中22人、げんきこ博多みなみ保育園 19人中19人 みんなの保育園 26人中26人、リィ保育園 29人中29人	
106	2.学童保育の充実	安全な学童保育環境の整備	子育て支援課	児童が安全で快適に生活できる環境をつくるため、適正な施設の維持管理を行います。	-	-	-	-	那珂川市公共施設等総合管理計画に基づき適正な施設の維持管理を行った。那珂川市学童保育所は、指定管理者が管理・運営を行っており、相互に連携を図った。	施設修繕:6件
107		学童保育所の設置・運営	子育て支援課	子どもが放課後などに安全に生活できる場をつくり、健全な児童を育成するため、市立小学校内に学童保育所を設置し運営します。	施設数	7か所	7か所	7か所	平均利用児童数:563人	
108		待機児童のない施設環境整備	子育て支援課	学童保育における待機児童をなくすため、利用者ニーズを把握しながら児童が入所できる環境を整備します。	受入率	100%	100%	100%		
109	3.子育てしやすい就業環境の改善に向けた啓発	子育てと仕事の両立のための広報・啓発	こども応援課	労働者や事業主、市民に対して、子育てと仕事の両立を果たせるよう、講座やイベントの情報提供を行います。	広報への情報掲載有無	無	無	有	県等からの講座やイベントのお知らせがなかったため、広報への情報掲載は行っていない。	
110		再就職支援のための情報提供	こども応援課	出産・子育てなどにより退職した女性が再就職できるよう、技能や資格取得のための講座に関する情報提供を行います。	広報への情報掲載回数	12回/年	11回/年	10回/年	県子育て女性就職支援センターのチラシを窓口を設置した。 ハローワークや県ひとり親サポートセンターと連携し、ひとり親家庭の就労相談や就労支援講習の案内を行った。	
<b>基本施策(3) 地域ぐるみで子育てをするコミュニティをつくる</b>										
111	1.地域で子育てを支える活動の充実	各種地域行事の支援	社会教育課	地域住民のコミュニティ意識の醸成に向けて、区の公民館活動や社会教育団体のイベントなどを積極的に支援していきます。	-	-	-	-	各区公民館に対し、活動助成金として52,000円を上限として助成した。各種社会教育団体に対し、活動補助金を支出し、活動を支援した。	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止により、一部助成金の返還があった。
112		自治会・各種連絡協議会との連携	社会教育課	地域に根ざした子育てを展開するために、自治会や各種連絡協議会との連携、協力体制を深めていきます。	-	-	-	-	区公民館連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会、市PTA連絡協議会とは事業実施にあたって、企画やイベント運営に関わるなど、連携し、協力体制をとった。	
113		住民相互の子育て支援	こども応援課	地域で子育てを支援するため、就労の有無に関わらず、子育てを住民相互で支援するファミリー・サポート・センターを運営します。	組織数	1	1	1	事務局をふれあいこども館事務室内に設置している。 依頼件数 151件	会員数 おねがい会員 429人 おたすけ会員 84人 どっちも会員 39人
114	2.子どもの安全を守る活動の充実	交通安全教室・防犯教室の開催への支援	安全安心課	交通事故や犯罪に遭う児童をなくすため、学校・地域・警察と連携し、交通安全教室や防犯教室が開催できるように支援します。	交通安全教室等の開催状況	0回	5回	7回	例年、交通安全指導員、春日警察署と共同で、市内7小学校にて児童に対する交通安全教室を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部小学校で中止した。代替として、各小学校に交通安全に関する教材(DVD)を配布し、学校活動中での啓発を実施した。	
115		青少年指導委員会の設置	社会教育課	青少年の非行を防止し、健全な育成を図るため、青少年指導委員会を設置し活動を支援します。	青色回転灯装備車両出動回数	27回	32回	90回	各ブロックパトロール実施回数 32回(南畑ブロック 4回、岩戸ブロック 5回、岩戸北ブロック 1回、片縄ブロック 1回、安徳青ブロック 4回、安徳北ブロック 1回、補導員・職員パトロール 16回) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、巡回パトロールを一部中止した。	
116		青少年育成市民会議の支援	社会教育課	地域が一体となった青少年の健全な育成の活発な取り組みを推進するため、青少年育成市民会議の活動を支援します。	-	-	-	-	青少年育成市民会議は青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を集結し、国、県及び市の施策と呼应して、青少年の健全な育成を図ることを目的とし、4つの部会に分かれて活動を実施した。 総務部会:青少年健全育成体験発表&パレードは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 育成部会:人形劇団やしろべの公演を年2回計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 家庭部会:出生届出時に、保護者へのチラシの配布。新一年生保護者を対象とした子育て支援として動画配信の案内。 広報部会:広報誌「あおぞら」発行(年間1号発行)	

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
117		各区防犯活動への支援	安全安心課	地域における自主防犯活動を推進するため、各行政区が取り組む地域防犯活動を支援します。	補助金の交付状況	36区	37区	36区		

NO.	施策目標	事務事業	担当課	事業概要	指標項目	R2実績値	R3実績値	R6目標値	主な実施状況またはR3実績値がR6目標値に達しなかった理由	備考
118		防犯パトロールの実施支援	安全安心課	地域での児童の安全確保や青少年の非行を防止するため、青パトの整備など地域住民による防犯パトロール活動を支援します	青パト助成金の交付状況	20台	17台	21台	地域防犯活動助成金として市内4地区の各防犯対策協議会・連絡協議会に青パト活動に対する助成金を支出し、自主的な防犯活動を支援したが、任期满了や青パト活動の申請者が減少したことにより、目標を下回った。	那珂川市安全安心まちづくり推進協議会や那珂川市防犯組合連絡協議会をはじめとする、市内の犯罪を防止するための組織や、活動を行っている団体に対し、補助金や助成金を支出し、その活動に対して支援を行った。
119		防犯意識の啓発	安全安心課	防犯意識を高めるため、チラシや冊子を配布し、防犯に関する住民への情報提供を行います。	住民への情報提供回数	12回	12回	12回		校区単位の犯罪発生状況や筑紫地区安全安心まちづくり通信及び防犯ふくおか等のチラシや冊子を窓口に設置することで情報提供を行った。 『那珂川警部交番だより』を毎月ホームページに掲載し、身近な防犯に関する情報などの啓発を行った。

基本施策（４） 子育てに優しい生活環境を整備する

120	1. バリアフリーのまちづくりの推進	道路照明灯の設置促進	建設課	必要箇所に道路照明灯の設置など、安全な道路環境の整備を進めていきます。	-	-	-	-	道路照明灯の球切れや自動点滅器の故障を発見したときは、早急に対応した。	
121	公共空間のバリアフリー化の推進	建設課	建設課	ベビーカーや車いすでの移動に配慮した生活環境のバリアフリーを推進するため、道路（車道、歩道）及び公共施設における整備を進めます。	整備距離	那珂川・宇美線 L=191.0m	那珂川・宇美線 L=119.0m	那珂川・宇美線 L=480m	那珂川・宇美線道路改良工事（バリアフリー化L=119m）を実施。	R4は143.9mで那珂川・宇美線はすべて完了。
		障がい者支援課	障がい者支援課		-	-	-	-	市で維持管理を行っている施設・道路等の新設・改修に伴い、適宜関係課と協議を行った。	
122	ユニバーサルデザインの普及	障がい者支援課	障がい者支援課	すべての人が利用できるデザインの構築に向けて、ユニバーサルデザインの普及に努めていきます。	-	-	-	-	県が実施しているユニバーサルデザインのまちづくりの一つである「ふくおか・まごころ駐車場」制度について、窓口やホームページ等で周知した。	
123	2. 子どもの遊び場の確保	学校施設の地域開放	社会教育課	子どもの遊び場を確保するため、学校休業時の小学校体育館施設（体育館、運動場）を開放します。	子どもの参加人数	1,965人	1,359人	6,000人	各小学校全学年へチラシの配布やポスター等の掲示を行い周知した。タブレット教室を充実させるため、プログラミングソフトを購入し、活用促進を図った。学校開放においても、スポーツプログラムを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、参加児童が減少した。 学校開放（岩戸、岩戸北、安徳北、安徳南） 421人 放課後子供教室（安徳、片桐、南畑） 938人	
124	放課後子ども総合プランの検討	社会教育課	社会教育課	放課後児童クラブ（学童保育所）と学校施設等の地域開放事業が一体となって子どもの居場所を確保することを目指し、教育委員会及び関係機関と連携し、放課後子ども総合プランの推進を進めていきます。 また、放課後児童クラブ（学童保育所）の指導員と放課後子供教室の協力者が協働して就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、子ども達に多様な体験活動等を行うことができる見守り体制について引き続き検討していきます。	開設か所数	3か所	3か所	7か所	放課後子供教室の周知を強化するために、実施校全校児童にチラシの配布を行うとともに、学校によってはホームページに掲載してもらった。プログラム充実のため、タブレットにプログラミングソフトを購入し、タブレット教室の実施を計画した。また、放課後子供教室運営協議会に、放課後児童クラブの指導員も委員として参加してもらい、放課後児童クラブとの一体的推進を図った。未実施校においても、放課後子供教室を実施するため、設置に向けての準備を進めている。現在、実施している3校に閉しても、引き続き事業の周知を図り、地域学校協働活動推進員と連携しながら、地域が主体となった活動プログラム実施に向け、少しずつ実施をしている。	
		子育て支援課	子育て支援課		検討の有無	有	有	有	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施するにあたり、那珂川市放課後子供教室運営委員会と協議を行った。	
125	子どもの遊び場としての市民体育館の開放	社会教育課	社会教育課	子どもの遊び場を確保するため、市民体育館をニュースポーツ体験広場として開放します。	施設の開放状況	4回	5回	18回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民体育館を休館したことにより、5回の実施となった。 今後も感染症対策を十分に行いながら実施回数の増加や新規参加者増加のため、ニュースポーツ体験広場の周知に努める。	
126	児童館情報の発信	こども応援課	こども応援課	ふれあいこども館及び児童館設置の目的や実施事業を広く市民に知らせるため、様々な手法により児童館情報を発信します。	情報紙の発行回数	12回/年	12回/年	12回/年		
		人権政策課	人権政策課		児童館だよりの発行回数・件数	0回	0回	3回	市広報紙、恵子児童館ホームページ（児童館日記）で随時情報を発信した。また、那珂川市子育てポータルサイトnobinobiへの情報掲載ほか、各実施事業ごとに案内チラシ等を施設内に設置・配布した。児童館だよりはイベント告知が主であるが、イベントが中止になったため発行していない。	恵子児童館ホームページでは、恵子児童館の設置目的、利用・施設案内、行事紹介を行い、取り組み状況の周知をした。
127	子どもの遊び場の確保と整備	地域づくり課	地域づくり課	児童が安心して遊べる公園を安全に維持管理し、整備します。	-	-	-	-	全ての都市公園において遊具点検を実施した。また、点検結果に基づき、都市公園3公園において遊具の取替、新設及び12公園において遊具修繕を実施した。仲公園において、フェンス改修工事を実施した。高さH=4mのフェンスを設置したこと、子どもたちが安心してボール遊びができる公園となった。	
128	「アンビシャス広場」活動事業の実施	社会教育課	社会教育課	地域で子どもを見守る環境をつくるため、公民館や学校施設等を利用して実施する「アンビシャス広場」活動事業を実施します。また、放課後こども総合プランに基づき、放課後子供教室との連携についても検討していきます。	補助（支援）件数	3件	3件	3件	放課後等に、子どもたちに安全・安心で多様な体験や活動をする機会を提供することを目的に実施する「EnjoyGoGo!那珂川北中アンビシャス広場」「たんぼぼアンビシャス広場」と、県からの補助を受け実施する「片桐小アンビシャス広場」において子ども達の居場所づくりを実施した。	・たんぼぼアンビシャス広場…安徳北小学校体育館、東地区公民館 ・EnjoyGoGo!那珂川北中アンビシャス広場…那珂川北中学校図書室、北地区公民館 ・片桐小学校アンビシャス広場…片桐小学校多目的室

(参考)										
		子どもの権利の周知及び学ぶの支援	こども応援課	那珂川市子どもの権利条例を令和3年4月に施行したことにより、子どもの権利の周知及び学びの支援をします。						子ども用パンフレットを小中学校・女子商の児童生徒及び教職員へ、大人用パンフレットを幼保小中の保護者及び教職員のほか、各戸配布した。また、広報紙やホームページに掲載するほか、人権フェスタにて周知を行った。

**提出状況**

所属	提出	備考
総務課	○	
市民課医療担当	○	
安全安心課	○	
人権政策課	○	
健康課	○	
子育て支援課	○	
中央保育所	▲	
市立幼稚園	○	
こども応援課		
障がい者支援課	○	
建設課	○	
地域づくり課	○	
学校教育課	○	
教育指導室	○	
教育総務課	○	
社会教育課		
文化振興課	○	